

福岡のこれまでの歩み

2003(平成15年)

九州大学【水素利用機械システムの統合技術】が「21世紀COE※プログラム」に採択(文部科学省)
～日本唯一!基礎から応用まで総合的な研究教育～
※COE(Center of excellence):卓越した研究拠点

2004(平成16年)

4月 九州大学 「水素利用技術研究センター」発足

8月 「福岡水素エネルギー戦略会議」設立
～環境にやさしい水素エネルギー社会の実現に向けて～
(設立時会長:
八木重二郎氏(新日本製鐵(株)
代表取締役副社長))



2005(平成17年)

3月 「福岡水素利用技術研究開発特区」に認定
～我が国最初の特区認定
対象地域:九州大学(箱崎キャンパス、元岡新キャンパス)～

10月 「福岡水素エネルギー人材育成センター」開講 ～全国初!世界を先導する研究開発拠点の形成をめざして～
(設立時校長:渡邊浩之氏
(トヨタ自動車(株)技監))



2006(平成18年)

7月 九州大学「水素材料先端科学研究センター(HYDROGENIUS)」発足
～経済産業省の支援の下、産業技術総合研究所と九州大学が連携して設立～



2007(平成19年)

2月 「第1回水素先端世界フォーラム」開催
～2020年で第14回を迎え、これまでに米・独・英など、多くの海外研究者が参加～

8月 「北米水素産業調査団」派遣
～水素関連ベンチャーの企業化・産業化を目指し、産学連携のあり方を調査～
※視察先 カナダ国立研究機構燃料電池イノベーションセンター、プリティッシュコロンビア大学、パラード社、パワーテック社



2008(平成20年)

2月 「福岡水素戦略(Hy-Lifeプロジェクト)」策定



2009(平成21年)

3月 「水素エネルギー製品研究試験センター」運営財団設立
～水素関連製品の開発を支援する、全国初の公的試験施設～
(理事長:渡邊正五氏)



3月 「福岡水素タウン」実証開始
～家庭用燃料電池「エネファーム」を糸島市南風台・美咲が丘地区150世帯に集中設置。
世界最大のモデル都市を整備～

新エネ百選に認定
(平成21年6月)



4月 「燃料電池自動車(トヨタFCHV-adv)」を公用車として導入
～福岡県内で実証走行を開始～

Toyota FCHV-adv



5月 家庭用燃料電池「エネファーム」販売開始

6月 第7回産学官連携功労者表彰
「日本経済団体連合会会長賞」受賞
～九州大学 村上敬宜 理事・副学長、福岡県 麻生知事 共同受賞～
「世界初・水素材料に関する先端科学研究センター」を設立
～世界の頭脳を集結した産学官連携拠点～



8月 九州大学「水素利用技術研究センター」が「水素エネルギー国際研究センター」に改組



9月 「水素ハイウェイ」始動
～北九州市(東田地区)、福岡市(九州大学伊都キャンパス)の2か所に水素ステーションを整備～
北九州水素ステーション:
製鉄所から副生水素をパイプラインにて供給(日本初)
九州大学水素ステーション:
再生可能エネルギーを利用した水電解方式を採用



12月 「燃料電池ハイブリッドバス(FCHV-BUS)」試乗会 開催
～福岡水素タウン・九州大学伊都キャンパスにて説明試乗会を開催～



福岡のこれまでの歩み

2014 (平成26年)

- 4月 「水素エネルギー製品研究試験センター」新試験棟開所
～日本初!燃料電池車から水素ステーション用までの
水素貯蔵タンク試験設備を整備!～



- 6月 水素・燃料電池戦略ロードマップ策定
～水素社会の実現に向けた取組みの加速～

- 8月 「ふくおかFCVクラブ」設立
(代表:麻生泰氏(九州経済連合会会長)、小川洋氏(福岡県知事))



- 12月 「トヨタMIRAI」市販開始

- 12月 「ホンダ スマート水素ステーション設置」
(北九州市エコタウン内)
～Honda:高圧水電解システムを採用した
「パッケージ型水素ステーション」～



2015 (平成27年)

- 2月 「FCV公用車(トヨタMIRAI)」導入



- 3月 「FCVタクシー」運用開始
(全国初、福岡県内事業者が5台導入)



2015 (平成27年)

- 3月 イワタニ水素ステーション小倉 開所
福岡市中部水処理センター水素ステーション 開所



福岡市中部水処理センター水素ステーション

- 5月 「FCVキャラバン」開始
～「ふくおかFCVクラブ」の
活動として、公用車が
県内各地を巡回～



- 11月 イワタニ水素ステーション 福岡県庁内 開所
～西日本初の県庁内水素ステーション～



- 12月 八幡東田水素ステーション 開所



2016 (平成28年)

- 3月 「水素・燃料電池戦略ロードマップ」改訂

- 3月 「ホンダ CLARITY FUEL CELL」リース販売開始

- 3月 Dr.Driveセルフ伊都店 水素ステーション 開所
東浜水素ステーション 開所
Dr.Driveセルフ福岡空港店 水素ステーション 開所
Dr.Driveセルフ太宰府インター店 水素ステーション 開所



東浜水素
ステーション

- 10月 「FCV公用車(ホンダ CLARITY FUEL CELL)」導入



福岡のこれまでの歩み

2010(平成22年)

- 4月 「欧州水素産業調査団」派遣
～世界最先端の「福岡水素戦略」をアピール、
次期戦略の検討に着手～
※視察先 欧州委員会、ドイツ連邦政府、ダイムラー、Air Liquide、
TUV SUD AG(製品試験)、Energie Technologie(製品試験センター)他



- 4月 「水素エネルギー製品研究試験センター」開所



- 4月 福岡水素エネルギー戦略会議、
IPHEアワード「優秀リーダーシップ賞」受賞
～IPHE(国際水素燃料電池パートナーシップ)は、
水素・燃料電池に係る
国際協力枠組みであり、
団体での受賞は世界初!～



- 10月 「燃料電池自動車(ホンダFCXクラリティ)」を
公用車として導入
～福岡県内で
実証走行を開始～



- 12月 九州大学
「カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所」発足

2011(平成23年)

- 1月 「北九州水素タウン」実証開始(北九州市東田地区)
～一般住居や商業・公共施設に水素をパイプライン供給し、
定置型燃料電池等の燃料として利用する世界初の
次世代型水素エネルギーモデル都市～



- 3月 「韓国水素産業調査団」派遣
～韓国の水素エネルギー・燃料電池の開発・普及状況、
国の政策や企業における燃料電池自動車・定置用燃料電池の
開発状況を調査～

※視察先 大韓民国(知識経済部)、
POSCO、現代起亜自動車、
ソウル水素燃料電池発電所



- 4月 「福岡水素戦略」第2期プロジェクト開始
～第1期プロジェクトの成果と水素産業調査団による調
査結果を踏まえ、第2期計画を策定～

2011(平成23年)

- 5月 水素燃料電池スクーター(スズキ バグマン フューエルセル)
実証開始
～日本初! 北九州市東田
(ひがしだ)で日本初の
水素燃料電池スクーター実証～



2012(平成24年)

- 1月 九州大学「次世代燃料電池産学連携研究センター」発足



- 2月 「北部九州燃料電池自動車
普及促進構想」発表
～北部九州における燃料電池
自動車及び水素供給インフラ
関連市場の創出、将来の生産拠点
の形成及び関連産業の集積を図る～



- 10月 「水素エネルギー理解促進活動」集中実施
～北九州市、福岡市、糸島市などと連携し、
一般市民を対象として、トヨタFCV-Rの博多駅での
展示や燃料電池教室の開催、また燃料電池自動車や
燃料電池バスの全国初の運転試乗会等を開催する
など、体験型の活動を実施～



- 10月 「平成24年度チャレンジ25地域づくり事業」(環境省)
～戦略会議の地元会員企業が主体となって、
水素エネルギー利用社会の実現に向けた
燃料電池バス実証を実施～

2013(平成25年)

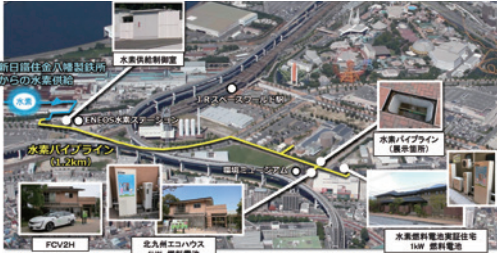
- 5月 「平成25年度低炭素地域づくり集中支援モデル事業」
(環境省)
～戦略会議の地元会員企業が主体となって、将来の
営業利用を想定した燃料電池バス実証を実施～

- 11月 「国際水素燃料電池パートナーシップ(IPHE)」
運営会議、福岡で開催
～本県の水素エネルギー分野における取組みを
世界に発信～
※世界14か国・機関が参加。



福岡のこれまでの歩み

2016 (平成28年)	
11月	「(株)豊田自動織機 FCフォークリフト」販売開始
12月	Dr.Driveセルフ古賀店 水素ステーション 開所 
2017 (平成29年)	
1月	九州大学「産総研・九大水素材料強度ラボラトリ (HydroMate)」設立 
2月	「トヨタ燃料電池バス」販売
3月	「地産地消型再生水素エネルギー マネジメントシステム導入事業」開始 ～トヨタ自動車九州宮田工場:太陽光から水素を製造し、 FCフォークリフト等で利活用するプロジェクト～ 
3月	福岡宮田水素ステーション 開所 ～福岡県内の水素ステーションが10か所に!～ 
6月	「FC二輪車 公道走行 (スズキ パーグマン フューエルセル)」開始 ～福岡県内において、5台が公道での実証走行を開始～ 
12月	水素基本戦略策定

2018 (平成30年)	
3月	「トヨタ 量販型燃料電池バスSORA」販売開始
6月	「燃料電池を利用したエネルギー融通プロジェクト」 ～燃料電池による余剰電力を住棟内で融通し、 他の住戸にも活用するプロジェクトを実施～ 
7月	「北九州水素タウン」再始動 ～水素パイプラインを通して、水素実証住宅及び 環境ミュージアムの燃料電池に水素を供給～ 
10月	「燃料電池トラック 公道走行」開始 (福岡市) ～燃料電池トラックの公道走行は、日本初!～ 
10月	第1回「水素閣僚会議」開催
2019 (平成31年、令和元年)	
3月	「水素・燃料電池戦略ロードマップ」改訂
7月	九州大学水素エネルギー国際研究センター 「地域ESD拠点」(環境省)に登録
9月	「水素・燃料電池技術開発戦略」策定